

# 令和 5年度施策評価書

政策	04 産業の振興と地域資源を活用したまちづくり
施策	04 観光交流の推進
主管課	商工観光課
関連課	商工観光課、誘致戦略課、政策企画課、漁港振興課
施策が 目指す姿	市民・観光客/観光で交流し、にぎわいを創出する

## 方針

令和 5年度	・焼津温泉の安定供給を図り、温泉と食を軸とした観光プロモーションを実施する。 ・LINE等のデジタルツールを活用し、コンテンツにあわせたターゲットへの効果的な情報発信を展開する。 ・新たな地域資源を発掘し、市内滞在時間の増、宿泊につながるようなイベントを企画・検討・支援することで交流人口の拡大を図る。

## 指標

成果 指標名①	観光交流客数				単位	万人
					達成率区分	増加目標
目標値	令和02年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
	計画		200	300	350	400
	実績	138	255.3	310.6		
達成率		127.65%	103.53%			
成果 指標名②	宿泊客数				単位	万人
					達成率区分	増加目標
目標値	令和02年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
	計画		30	35	40	44
	実績	23.5	31.2	34.7		
達成率		104%	99.14%			
成果 指標名③					単位	
					達成率区分	
目標値	令和02年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
	計画					
	実績					
達成率						

## 事業費内訳

(単位 : 千円)

		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
事業費	計画	0	0	323,087
	実績	0	0	304,195
財源内訳	国庫 支出金	計画 実績	0 0	0 0
	県 支出金	計画 実績	0 0	2,000 2,000
地方債	計画 実績	0 0	0 0	0 0
	その他	計画 実績	0 0	129,352 120,123
一般 財源	計画 実績	0 0	0 0	191,735 182,072
	人件費	計画 実績	0 0	12,509 17,812
トータル コスト	計画 実績	0 0	0 0	335,596 322,007

## 評価

施策の振り返り	<ul style="list-style-type: none"><li>・広報やいづ、市公式ライン、観光協会インスタグラム、ぐるめぐり専用SNS、各種媒体への廣告掲載等、ターゲットに合わせた様々なツールによる効果的な情報を発信し認知度向上を図った。</li><li>・観光協会の体験型旅行商品予約サイト「meet's！やいづ」では、新たな体験プログラムの造成等を行い、引き続きマイクロツーリズムを推進した。</li><li>・観光資源である「食」と「焼津温泉」を有効活用し、焼津ぐるめぐりや全国かつおまつり・サミットと連動した魚（とと）フェスなどを実施し、交流人口の拡大につなげた。</li><li>・観光協会や地域金融機関と連携し、観光庁の「観光地再生・高付加価値化事業」の採択を受け、宿泊・観光施設の高付加価値化に向けた改修を支援し、利用者の満足度向上や消費単価の増額につながった。</li><li>・海上花火大会などの観光イベントについて、実行委員会等の関係団体と連携して実施し、コロナ禍以前の水準規模での開催につながった。</li><li>・焼津温泉については、各利用施設への安定供給を図るとともに、より一層の普及と認知向上のため、市役所前足湯の開設や入浴時のリフレッシュ効果について科学的に検証した。また温泉総選挙において5年連続第1位を獲得した。</li><li>・3市1町による広域観光連携協議会に参画し、国内プロモーションとしては山梨県や魚フェス等での物産展を実施、また海外プロモーションでは静岡県台湾事務所とも連携して台湾人インフルエンサーによるファムツア（現地視察ツア）を実施し、広域観光誘客につなげた。</li><li>・2025年に開催される大阪万博について、首長連合に参画し関係団体との協議を踏まえ、他市町と連携し温泉をテーマとした出展が決定した。</li></ul>
施策の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・観光交流客数の目標達成に向けて、県内及び首都圏～中京圏のより高付加価値を求める方を主要なターゲットに、魅力ある観光資源を様々なツールにより効果的に情報発信する必要がある。</li><li>・「モノ消費」から「コト消費」への観光構造の変化を踏まえ、観光協会等と連携し体験型観光をさらに充実させる必要がある。</li><li>・「本物のさかな文化（美食）」や「焼津温泉」をテーマに、質の高いサービスを提供し地域一体となって観光産業の再生・高付加価値化を進め、焼津が観光目的地として選ばれるような地域づくりをすることで、引き続き宿泊客数の増加や地域の稼ぐ力の向上に繋げる必要がある。</li><li>・コンベンション、スポーツ大会等の誘致により、観光交流客数・宿泊客数の増加につなげる必要がある。</li><li>・広域連携を強化し、主要なターゲットを中心に継続的に魅力ある広域的な観光コンテンツの造成と情報発信を行い、観光目的地としての認知向上を図る必要がある。</li><li>・インバウンド需要を獲得するため、ターゲット設定、焼津ならではのプログラム造成及び持続的な受け入れ環境の整備など、事業内容を再構築する必要がある。</li><li>・大井川港へのクルーズ船誘致に向け、誘致組織の再構築や船主会社への働きかけとともに魅力ある観光コンテンツの造成が必要である。</li><li>・さらなるインバウンド需要に対応するため、より高品質な宿泊施設の新設・誘致に向けた調査・研究を進めていく必要がある。</li></ul>
市民意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・山梨県も主要なターゲットに含め、互いの市民を巻き込んで交流を推進してほしい。</li><li>・食文化を中心に観光都市としての発展を目指してほしい。</li><li>・「食」と「温泉」を活用した、品質の良い宿泊施設の誘致に取り組んでほしい。</li><li>・焼津らしさのある、統一感のある体験型コンテンツ造成を企業を巻き込んで取り組んでほしい。</li><li>・インバウンド需要の拡大として、日本人と感覚が近い台湾人の誘客を推進してほしい。</li></ul>